

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-522847(P2004-522847A)

【公表日】平成 16 年 7 月 29 日 (2004.7.29)

【年通号数】公開・登録公報 2004-029

【出願番号】特願 2002-570649(P2002-570649)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 9 J 4/00

C 0 9 J 4/02

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 151/00

C 0 9 J 175/16

C 0 9 J 201/02

【F I】

C 0 9 J 4/00

C 0 9 J 4/02

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 151/00

C 0 9 J 175/16

C 0 9 J 201/02

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 7 日 (2005.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

接着剤組成物であって、

(i) エチレン型不飽和カルボン酸誘導体およびこのような誘導体の混合物から選択される少なくとも 1 種の反応性モノマー (A)、

(i i) エチレン型不飽和基で官能化された、モル重量が 1 0 0 0 ~ 9 0 0 0 の範囲である少なくとも 1 種の液体エラストマー (B)、

(i i i) モノマー (i) に溶解せずに膨潤するコア - シェルポリマーである少なくとも 1 種の耐衝撃性改良剤 (impact modifier)、(C) および

(i v) 少なくとも 1 種のフリーラジカル開始剤および少なくとも 1 種の触媒を含み、A と B の全量に対する B の量が 1 5 ~ 6 0 重量 % である接着剤組成物。

【請求項 2】

前記開始剤または前記触媒が、それぞれ更なる成分またはペースト中に別々に存在する請求項 1 に記載の接着剤組成物。

【請求項 3】

A と B の全量に対する B の量が、1 5 ~ 4 0 重量 % である、請求項 1 または 2 に記載の接着剤組成物。

【請求項 4】

A、B および C の全量に対する C の量が、5 ~ 3 0 重量 % である、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の接着剤組成物。

【請求項 5】

A、B および C の全量に対する C の量が、10～25 重量%である、請求項 1～3 のいずれかに記載の接着剤組成物。

【請求項 6】

前記の少なくとも 1 種のエチレン型不飽和カルボン酸誘導体がエステルまたはエステルの混合物である、請求項 1～5 のいずれかに記載の接着剤組成物。

【請求項 7】

前記反応性モノマーが(メタ)アクリルモノマーである、請求項 1～6 のいずれかに記載の接着剤組成物。

【請求項 8】

前記反応性モノマーが、少なくとも 50% のテトラヒドロフルフリルメタクリレートまたはメチルメタクリレートまたはその混合物を含む、請求項 1～7 のいずれかに記載の接着剤組成物。

【請求項 9】

前記反応性モノマー A から生じるホモポリマーまたはコポリマーのガラス転移温度が 40 と 140 の間である、請求項 1～8 のいずれかに記載の接着剤組成物。

【請求項 10】

前記液体エラストマー(B)が、(メタ)アクリル官能化ブタジエン、イソプレン系ポリマーまたはブロックコポリマー、ポリエチレンポリオールまたはポリプロピレンポリオール、ジイソシアネートおよびヒドロキシ官能化エチレン型不飽和モノマーの合成により得られる PU - (メタ)アクリレートならびにその混合物からなる群から選択される、請求項 1～9 のいずれかに記載の接着剤組成物。

【請求項 11】

二重金属シアニド錯体触媒作用により得られる不飽和度が低くモル重量分布が狭いポリオールを用いる合成により前記 PU - (メタ)アクリレートが得られる、請求項 10 に記載の接着剤組成物。

【請求項 12】

前記液体エラストマーが、(メタ)アクリル末端ブタジエンアクリロニトリルブロックコポリマーである、請求項 10 または 11 に記載の接着剤組成物。

【請求項 13】

前記開始剤が有機過酸化物であり、前記触媒が、第 3 アミン、遷移金属の塩および遷移金属の錯体からなる群から選択される請求項 1～12 のいずれかに記載の接着剤組成物。

【請求項 14】

前記有機過酸化物が過酸化ベンゾイルである請求項 13 に記載の接着剤組成物。

【請求項 15】

前記触媒が、N, N - ジメチルアニリン、N, N - ジメチル - p - トルイジン、N, N - ジエチルアニリン、N, N - ジエチルトルイジン、N, N - ビス(2 - ヒドロキシエチル) - p - トルイジン、N - エトキシ化 p - トルイジン、N - アルキルモルホリンまたはそれらの混合物からなる群から、あるいはコバルト、ニッケルおよび銅の塩および錯体ならびにそれらの混合物からなる群から選択される、請求項 13 または 14 のいずれかに記載の接着剤組成物。

【請求項 16】

接着改良剤を含む、請求項 1～15 のいずれかに記載の接着剤組成物。

【請求項 17】

前記接着改良剤が、(メタ)アクリル酸、(メタ)アクリルリン酸エステル、シラン類、あるいは前記シラン類の混合物および/またはジ(メタ)アクリル酸ジルコニウムからなる群から選択される請求項 16 に記載の接着剤組成物。

【請求項 18】

前記シランが、3 - メルカプトプロピルトリメトキシシラン、(3 - メタクリロイルオキシプロピル)トリメトキシシランおよび 3 - グリシジルオキシプロピルトリメトキシシ

ランまたはそれぞれのトリエトキシシラン、またはこれらのシランの混合物から選択される請求項 17 に記載の接着剤組成物。